

神による祝福

創世記一四章

彼はアブラムを祝福して言った。「天と地の造り主、いと高き神に／アブラムは祝福されますように。敵をあなたの手に渡された／いと高き神はたたえられますように。」(19、20)

王たちの戦いに巻き込まれて捕虜となったロトを助け出そうと、アブラハムは出て行き、敵軍を打ち破りました。戦争中は逃げ隠れていたソドムの王が現れたとき、アブラハムは勝利者として当然の一切の権利を放棄しました。彼がそのように潔い態度を取ることができたのは、その直前に現れたメルキゼデクのこの言葉に心の目が開かれていたからです。人の手による祝福ではなく、神の祝福をこそ求めるべきことをメルキゼデクは教えたのです。全ての良きものを神からいただくことを決心したアブラハムは、どんなに多くの財を積まれても、それを人から受け取るうとはしませんでした。私たちも、その生活の全ては神の御手の中にある、神に支えられて生きている者たちです。人による祝福を追い求めるのではなく、神が与えてくださる祝福を待ち望もうではありませんか。